

早期の胃がんは、 ご自分ではまず気づきません。 見つけられるのは、 専門家だけです。

早期の胃がんは、自覚症状がないのが普通です。
あったとしても、胸やけ、吐き気、食欲不振など、
「今日はちょっと調子悪いかな」
と思うような軽いものです。
「異常を感じたら検診に行こう」では、
手遅れになる場合があります。
早期発見するためには、専門家による検診を
毎年定期的に受けることが大切です。



胃がん検診の流れ

1. 受診場所・受診日を選ぶ

同封の一覧表をご覧ください。

2. 電話でお申し込みください

TEL 000-0000-0000

3. 受診

自己負担金0,000円を支払い受診してください。

- 受診内容
・問診 ・バリウムによるX線検査

4. 結果

約2～3週間後に自宅に郵送されます。
検査結果を確認してください。

- 対象者：〇〇市在住の50歳以上の方
- 受診期間：平成〇〇年〇月〇日～
平成〇〇年〇月〇日まで

胃がん検診は助成がない場合7,000円程度
かかりますが、市から助成が出るため、
自己負担0,000円で受診できます。

検査費用	約 0,000 円
－ 助成金	約 0,000 円
自己負担金	0,000 円

お問い合わせ先

〇〇市〇〇部〇〇課
〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇〇号
電話 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇

SAMPLE

最後に
胃がん検診を
受けたのは、
何年前ですか？

SAMPLE

安心のために、

2年に1度は胃がん検診

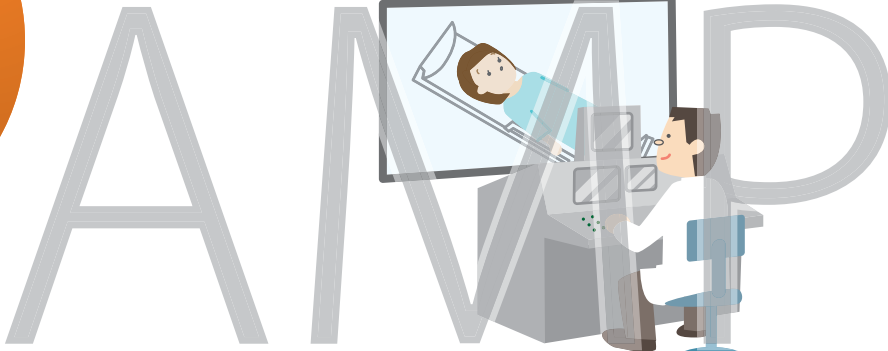
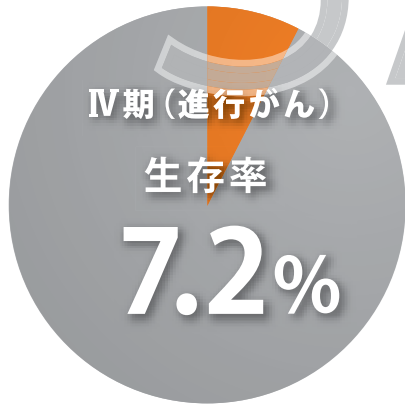
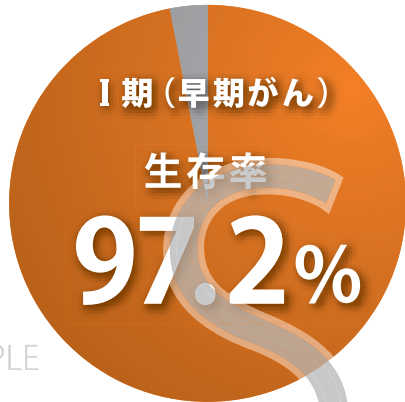
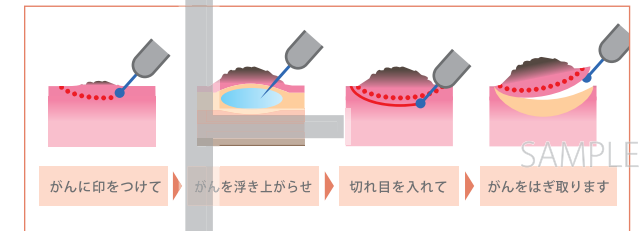
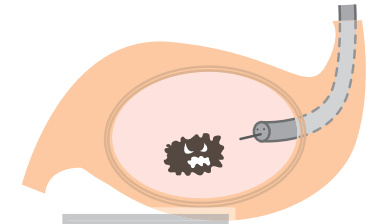
自己負担は0,000円です。

胃がんはなりやすいがんですが、
治しやすいがんでもあります。^{※1}
早期に見つければ、
97.2% 治ります。^{※2}

胃がん検診は、
バリウムによるX線検査です。
10分ちょっとで終わります。

胃がんが見つかって、
早期なら胃を取らずに、
内視鏡でがん細胞だけ
はぎ取れます。

X線を通さない物質であるバリウムと、
胃を膨らませるための発泡剤を飲んで、
胃の微細な変化や異常をX線により映し出します。
検査にかかる時間はおよそ10～15分くらいです。
異常が見つかった場合は、
内視鏡(胃カメラ)で精密検査をします。



今どきのバリウムは、
たったこれだけです。



術後の生活も

今までと変わりません。



※1 胃は、がん罹患した人が一番多い部位です。(2011年男女計)
出典：国立がん研究センターがん情報サービス
地域がん登録全国推計によるがん罹患データ (1975～2011年)

※2 ここでいう「治る(=治癒)」とは、診断時からの5年相対生存率です。
相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。
出典：全がん協加盟施設の生存率共同調査 (2004～2007年全症例)

胃内視鏡検査については、裏面のお問い合わせ先におたずね下さい。

出典：国立がん研究センターがん情報サービス
このリーフレットは、国立がん研究センター保健社会学研究部が作成しました。